

令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月19日(水) 午後1時～午後3時

2 場 所 静岡西高等学校 校長室

3 出席者

(1)運営協議会委員(敬称略、50音順)

齋藤剛、鳥羽美紀子、笛木茂雄、増田育子、谷津好雄

(2)教職員

松場勉(校長)、鈴木邦浩(副校長)、坂口卓也(教頭)、西尾雅子(事務長)、園明子(教務主任)、齋藤愛(生徒指導主事)、岡本研(進路指導主事)、前田悠(養護教諭)、寺下貴子(相談室長)、判野徹(総務主任/スポーツコース長)、矢崎加奈(みらい探究コース長)

4 内 容

(1) 校長あいさつ

(2) コンプライアンス委員会より(副校長・教育相談室長・養護教諭)

・令和6年度コンプライアンス研修の内容を報告。年間計画の研修に加え、重点に特化した資料を作成して研修を実施し、自身の言動を振り返る機会とした。

・保健室利用について、「悩みごと」での相談は4月が最も多かった。今後も、担任や部活動顧問、スクールカウンセラーと連携して対応していきたい。

(3) 令和6年度「学校関係者評価」の報告(各課長、コース長)

(4) 各委員より 御意見、感想

・自己評価の全体の印象として、教職員の丁寧な指導・支援が感じられ、生徒が安心して学校生活を送っている雰囲気を感じることができる。教職員の働き方改革は重要な視点だが、「働きがい」を大切にしてほしい。

・子どもの自尊感情を高めるためには、学校と家庭が協力する必要があるが、役割分担を明確にしておきたい。家庭には「子どもをほめてください」等具体的にお願いすると良い。

・子どもの成長に寄り添う姿勢が大切だが、いつか手放さなければならない。そのさじ加減が難しく、「大人になりきれていない成人」も多くいる。

・18歳までに身に付けておくべきことを確実に身に付けさせたい。自分の意見がない、見通しを立てられない者が多くなったと感じる。

・あいさつは、コミュニケーションのきっかけとなるものである。

・自転車ヘルメットの着用者が少ない。交通マナーについては、継続的指導をお願いしたい。

・学校の活動状況を周知するためには、SNS等を活用した情報発信することが重要。

(6) その他 ①(今後の予定)令和7年度第1回日時調整中

5 配布資料

(1) 令和6年度コンプライアンス委員会報告

(2) 教育相談体制

(3) 保健室の相談者利用状況

(4) 令和6年度学校経営報告書(自己評価)